

「平成31年度 女性医師支援に関するアンケート調査(大学医学部版)」

●調査日時:平成31年(2019年)4月1日現在

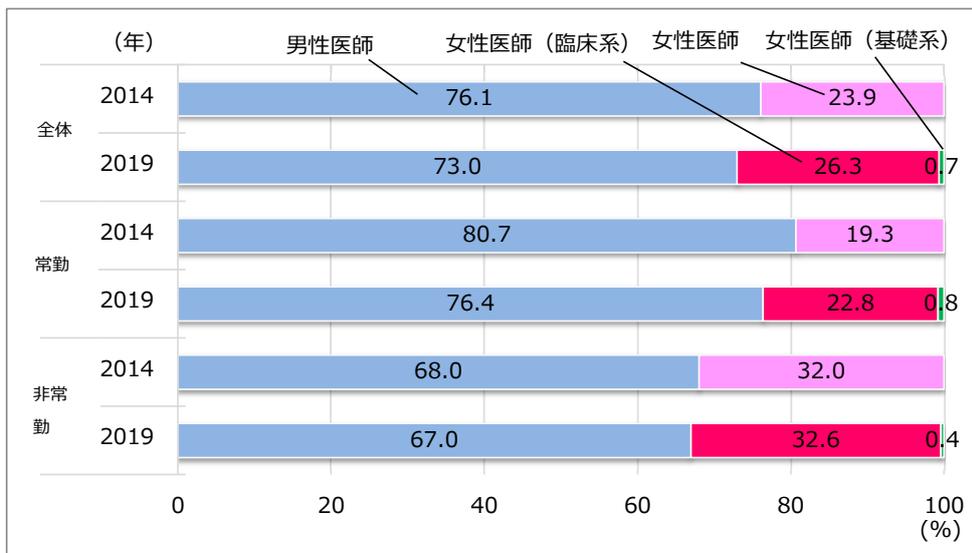
●調査対象:大学医学部

●回収率

	回収数	大学数	回収率(%)
H26年(2014年)調査	63	80	78.8
H31年(2019年)調査	58	82	70.7

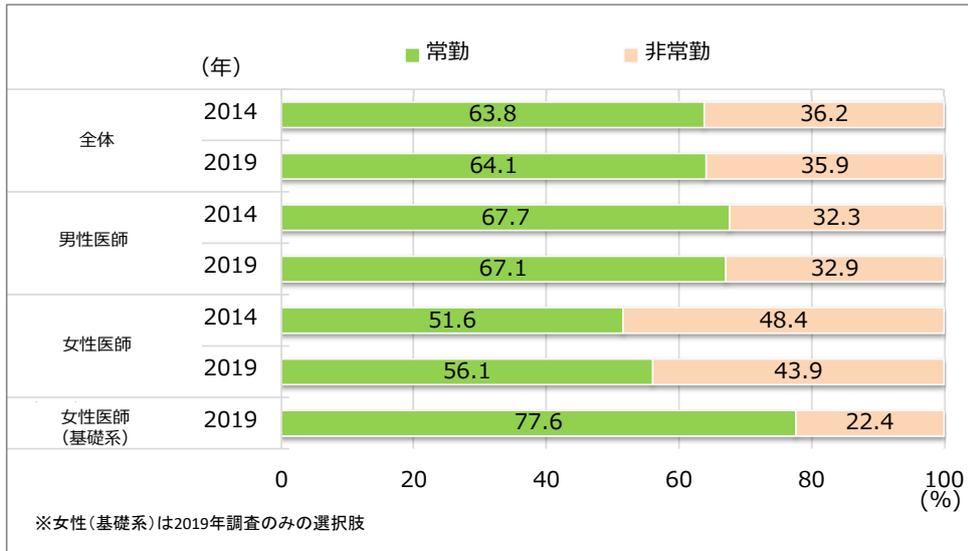
問1:貴大学医学部に勤務する医師数と女性医師数についてお答えください。

<1>常勤・非常勤別に見た性別の割合



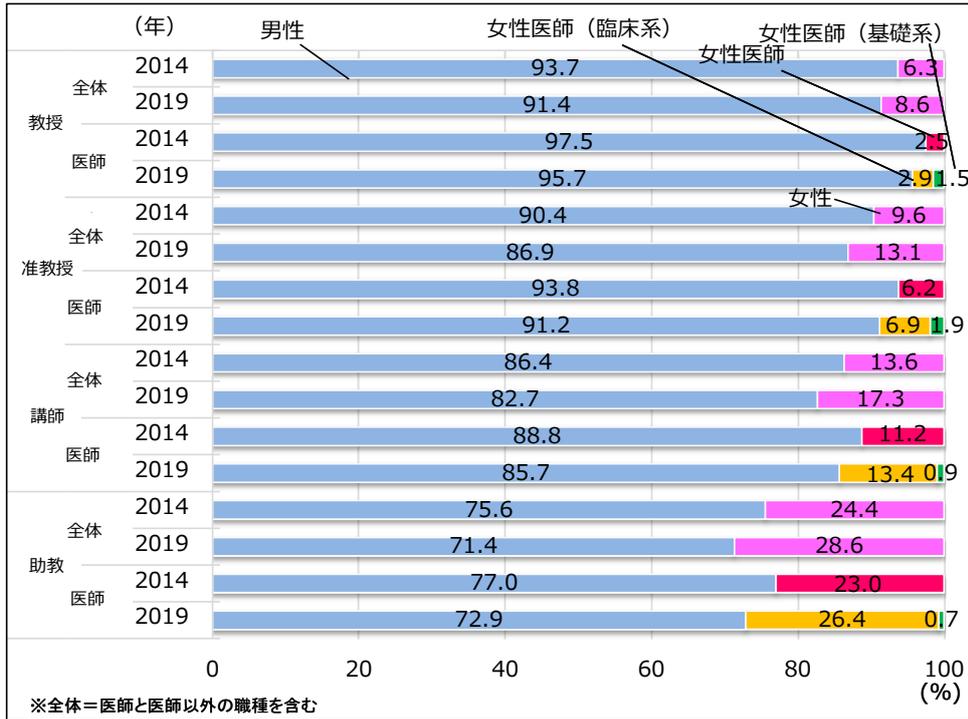
	年	単位	男性医師	女性医師		計
				臨床系	基礎系	
全体	2014	人	33,799	10,616		44,415
		%	76.1	23.9		100.0
	2019	人	35,109	12,668	313	48,090
		%	73.0	26.3	0.7	100.0
常勤	2014	人	22,871	5,477		28,348
		%	80.7	19.3		100.0
	2019	人	23,544	7,033	243	30,820
		%	76.4	22.8	0.8	100.0
非常勤	2014	人	10,928	5,139		16,067
		%	68.0	32.0		100.0
	2019	人	11,565	5,635	70	17,270
		%	67.0	32.6	0.4	100.0

<2> 医師の性別に見た常勤・非常勤の割合



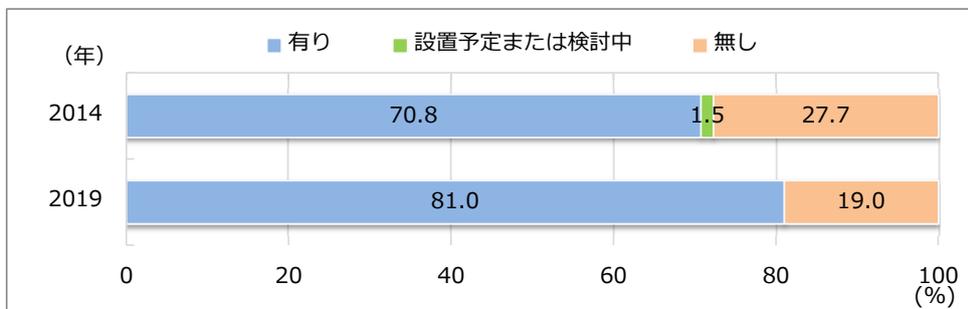
	年	単位	常勤	非常勤	計
全体	2014	人	28,348	16,067	44,415
		%	63.8	36.2	100.0
	2019	人	30,820	17,270	48,090
		%	64.1	35.9	100.0
男性医師	2014	人	22,871	10,928	33,799
		%	67.7	32.3	100.0
	2019	人	23,544	11,565	35,109
		%	67.1	32.9	100.0
女性医師	2014	人	5,477	5,139	10,616
		%	51.6	48.4	100.0
	2019	人	7,276	5,705	12,981
		%	56.1	43.9	100.0
女性医師(基礎系)	2019	人	243	70	313
		%	77.6	22.4	100.0

問2: 貴大学医学部における以下の役職の人数についてお答えください。



	年	単位	男性	女性		計	
				臨床系	基礎系		
教授	2014	人	3,858	260		4,118	
		%	93.7	6.3		100.0	
	2019	人	4,060	382		4,442	
		%	91.4	8.6		100.0	
	医師	2014	人	3,075	78		3,153
			%	97.5	2.5		100.0
2019		人	3,818	115	58	3,991	
		%	95.7	2.9	1.5	100.0	
准教授	2014	人	3,373	358		3,731	
		%	90.4	9.6		100.0	
	2019	人	3,187	482		3,669	
		%	86.9	13.1		100.0	
	医師	2014	人	2,566	170		2,736
			%	93.8	6.2		100.0
2019		人	2,574	195	53	2,822	
		%	91.2	6.9	1.9	100.0	
講師	2014	人	4,386	693		5,079	
		%	86.4	13.6		100.0	
	2019	人	3,950	827		4,777	
		%	82.7	17.3		100.0	
	医師	2014	人	3,553	450		4,003
			%	88.8	11.2		100.0
2019		人	3,341	522	36	3,899	
		%	85.7	13.4	0.9	100.0	
助教	2014	人	11,221	3,630		14,851	
		%	75.6	24.4		100.0	
	2019	人	11,420	4,580		16,000	
		%	71.4	28.6		100.0	
	医師	2014	人	9,763	2,913		12,676
			%	77.0	23.0		100.0
2019		人	9,987	3,618	98	13,703	
		%	72.9	26.4	0.7	100.0	

問3-1: 貴大学医学部に女性医師支援や男女共同参画推進の内部組織はございますか。



年	単位	有り	設置予定または検討中*	無し	計
2014	大学数	46	1	18	65
	%	70.8	1.5	27.7	100.0
2019	大学数	47	0	11	58
	%	81.0	0.0	19.0	100.0

※2014年調査の選択肢は「導入予定または検討中」

設問は「貴大学医学部(含む附属病院・大学院)に女性医師支援や男女共同参画推進の部門はございますか。」

問3-2: 内部組織の名称、直近5年間で内部組織の名称が変更されている場合は旧名称。

内部組織の名称	内部組織の旧名称
(1) 男女共同参画キャリア支援センター	-
(2) 男女共同参画プロジェクト委員会	-
(3) 男女共同参画支援部門(医療人キャリア支援室)	-
(4) 男女共同参画推進センター(同一名2件)	-
(5) 男女共同参画推進委員会(元気プロジェクト委員会)	-
(6) 男女共同参画推進委員会、女性医師支援センター	-
(7) 男女共同参画推進室	-
(8) 男女共同参画推進室(学部)、病院長補佐(女性支援・ダイバーシティ担当)(附属病院)	-
(9) 男女共同参画推進室、女性医療人キャリア支援センター	-
(10) 男女共同参画推進本部	-
(11) 男女共同参画支援室	-
(12) (1)男女協働参画支援室／保育支援室 (2)ダイバーシティ・ダイヤモンド(DD)ユニット事業推進室	(1)女性研究者支援室→女性支援部→男女協働・キャリア支援部
(13) ワーク・ライフ・バランス支援室	-
(14) ワークライフバランス支援センター	-
(15) ワークライフバランス支援センターみやこ	男女共同参画推進センター
(16) ワークライフバランス支援室、えんネット	-
(17) 女性医師支援センター(同一名3件)	-
(18) 女性医師・研究者支援センター	-
(19) 女性医師キャリア支援室	-
(20) 女性医師看護師支援センター	-
(21) 女性医師支援部門	-
(22) 女性医療人キャリア形成センター	男女共同参画推進局
(23) 女性研究者・医師支援センター	女性研究者支援センター
(24) キャリア形成支援センター、医学部総務課、各医局	医師キャリア支援センター
(25) しあわせキャリア支援センター	女性医師・研究者支援室
(26) ダイバーシティ推進センター	男女共同参画推進センター
(27) 愛媛大学医学部医師会女性医師部会	-
(28) 医学・病院統括部 職員課／センター病院管理部 総務課	-
(29) 医師・研究者キャリア支援センター	-
(30) 医療人育成支援センター 女性医師支援部門	-
(31) 岡山大学 医療人キャリアセンターMUSCAT	-
(32) 岐阜大学医学部附属病院女性医師研究支援センター	-
(33) 九州大学病院きらめきプロジェクト	-
(34) 熊本大学病院男女共同参画推進委員会	熊本大学医学部附属病院男女共同参画推進委員会
(35) 札幌医科大学附属病院女性医師等就労支援委員会	-
(36) 山形大学医学部男女共同参画推進委員会	-
(37) 鹿児島大学病院女性医師等支援センター	-
(38) 女医復職支援委員会、男女共同参画推進室	-
(39) 清花アテナ男女共同参画推進室	-
(40) 川崎医科大学女性医師・研究者等キャリア支援委員会	ワークライフバランス ワーキンググループ(委員会の前身)
(41) 地域医療研究・教育センター、男女共同参画推進委員会	医療人能力開発センター
(42) 病院:メディカル・ワークライフバランスセンター/大学:ダイバーシティ推進センター	大学:男女共同参画推進センター
(43) 附属病院総合臨床教育研修センター内「あきた医師総合支援センター」	-
(44) 復職・子育て・介護支援センター	-

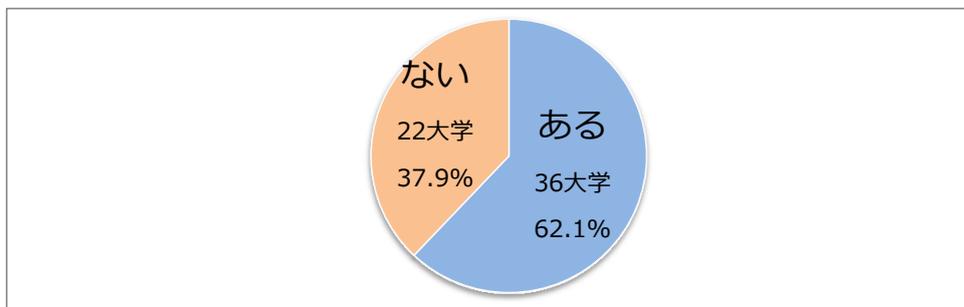
問3-5: その部門の活動内容や特徴的な取り組みについてお知らせください。

(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性PI育成(共同研究支援) ・ファミリーサポート(順天堂大学と共同運用) ・研究支援員配備事業 ・チーム型課題解決プロジェクト(若手研究者キャリアパス支援) ・産学横断型メンター制度(順天堂大学・株式会社ニッピバイオマトリックス研究所と連携)
(2)	<p>https://www.lab.toho-u.ac.jp/univ/diversity/media/newsletter.html ダイバーシティ推進センターHP 「NEWSLETTER」公開済</p>
(3)	<p>院内保育所及び病児・病後児保育室を設置している。定期的に女性医師の集いを開催し、キャリア形成、育児などの意見交換を行っている。また、医学生と医師の情報交換会を年1回実施している。</p>
(4)	<p>院内病児保育所、院内保育所、仕事と育児の両立応援補助事業、キャリア支援(医師キャリア継続プログラム)、メンタルヘルスサポート</p>
(5)	<p>学内保育所の設置など</p>
(6)	<p>「ワークライフバランス支援室」大学附属病院職員の就労環境改善。育児・出産介護についての相談窓口。パンフレット作成、メールマガジン発行。 「えんネット」復職支援相談窓口。女性医師の会の開催。ワークライフバランスセミナー開催。</p>
(7)	<p>女性医師等の医療現場での環境整備に関することや、男女共同参画を目指した医師会活動及び附属病院の活動に関する事について協議する。また、定期的に女子医学部生との懇談会を開催し、ロールモデルとして学生の相談に応じたり、情報提供を行っている。</p>
(8)	<p>各種制度案内 等</p>
(9)	<p>次世代医師等育成支援、就業継続・復職支援及び地域医療従事医師支援などを行っている。</p>
(10)	<p>女性医師就業継続支援窓口設置、女性医師に関する各種情報提供、復職支援、男性の相談応需(女性医師サポートに関する相談)</p>
(11)	<p>別紙MUSCATプロジェクト取り組み概要及び下記岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATホームページを参照願います http://www.okayama-muscat.jp/okayama/</p>
(12)	<p>キッズサマースクール</p>
(13)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 常勤復帰を前提としたスキル継続のための専門性に応じた非常勤勤務制度(専門の外来勤務、検査業務) 2) 毎月のスタッフミーティングによるスタッフの交流 3) 講演会・学生交流会・スタッフ発表会などによる啓発と周知活動 4) スタッフの教育学習支援のためのeラーニング教材の配信 5) ホームページ・きらめき通信(隔月発行)・報告書(年1回発行)による情報発信 6) 医学部・歯学部生に対する性差医学や医療人としてのプロフェッション教育 7) 他大学・基幹病院・近隣の医療機関との連携 8) 福岡県医師会・企業などの支援組織との連携
(14)	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本大学病院における男女共同参画の推進のための方策の策定に関する事を審議する。 ・熊本大学病院における男女共同参画の推進に係る課題の把握及びその対策に関する事を審議する。 ・男女共同参画コーディネーターの会、育児介護支援情報会、クローバーセミナー(医療人のやる気スイッチをテーマに)を実施した。
(15)	<p>復職支援、育児支援、研究・キャリア支援、次世代育成支援、院内女性医師と女子学生の交流会開催、メンター制度の利用拡充に関する取り組み</p>
(16)	<p>女医復職支援講演会、研究支援員制度等</p>

(17)	<p>本学は2013年4月、医療系板橋キャンパスに「帝京大学女性医師・研究者支援センター」を設立し、女性医師や研究者を中心に支援を行っている。センターは附属病院内に開設され、同じ階の病院総務課とも連携しやすい状況におかれている。</p> <p>「女性の潜在能力を最大限に引き出し、社会の役割と両立させながら質の高い研究活動が生涯にわたって行えるよう、女性医師および男女を問わず研究者の人材育成を全学部に展開する」という理念のもと、環境整備・研究力向上・意識改革の3本柱で支援活動を推進している。主な取組として、1)相談窓口の設置、2)研究支援員の配置、3)保育施設利用料補助やベビーシッター割引券発行などによる各種保育支援制度、4)先輩教員が出産・育児の相談にのるワーク・ライフ・バランスコンシェルジュ教員制度、5)上位職教員が研究・キャリア形成上の課題解決や職場内での問題解決をサポートするメンター制度、6)女性の健康や働き方・エンパワーメントに着目したセミナーの実施、7)女性研究者が情報交換・ネットワーキングする場としてのカフェタイム(月1回)の実施、8)男女共同参画をテーマとする学部生対象キャリア教育などを行っている。</p> <p>毎年度ニーズ調査を行いセンターの運営に反映させるとともに、センターの取組や活動内容をホームページやfacebook、年間3回発行するニュースレターで学内外に周知・広報を行っている。また、センターを紹介するパンフレットやワーク・ライフ・バランスのために利用できる制度を案内するガイドブックも作成している。</p> <p>同センターの運営委員会を兼ねる「男女共同参画推進委員会」内に専門項目に特化して検討を行うワーキンググループ(意識改革、環境整備、教育・研究力向上、女性比率向上)をおき活動を行っている。1年間の活動結果は報告書の形で本学の男女共同参画のステアリングを行う上位組織「男女共同参画会議」に報告し、その結果を2～3年ごとに「男女共同参画に関する学長提言」にまとめ、学長より各学部・学科に発信するというトップダウン・ボトムアップの循環をさせている。</p>
(18)	<p>広島大学病院は、女性医師にとって働き甲斐のある病院であるように、働きやすい効率のよい職場環境の整備を支援し、働き続けられる職場、離職しても復帰しやすい職場を構築することを目的として、平成29年4月に女性医師支援センターを設置した。</p> <p>平成30年4月からは、広島県で勤務を行う女性医師を総合的に支援するために、広島大学女性医師支援センターを中心に、広島県医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターが一体となって、「広島三本の矢:女性医師支援チーム」として、女性医師への支援を行うこととした。</p> <p>広島大学病院女性医師支援センターは、大学病院ならびに大学病院診療科の教育関連病院での女性医師の相談、勤務支援ならびに復職支援を、広島県医師会(女性医師部会担当副会長、常任理事、事務局)は、県医師会が施行する保育サポーター事業による支援を、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター(地域医療支援センター長、事務局)は、ドクターネット広島を介した広島県女性医師の勤務調整、復職支援を中心に活動しているが、女性医師からの相談等があった場合にはその都度情報を共有し、連携して対応できる体制を整えている。</p>
(19)	<p>センター開設後、学内に配布しているスマートニュースを送付予定です。</p>
(20)	<p>研究支援員の人件費を負担する「研究支援員制度(2018年度開始)」、卒業大学を問わない女性医師の復職支援、活躍する女性リーダーや教授を育む「彌生塾」など多岐にわたる活動をしております。また、「2016年度(平成28年度)ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、「ダイバーシティ研究環境整備(勤務環境改善、管理職意識改革等)」、「研究力向上、リーダー育成(研究支援員制度等)」、「上位職への積極登用(セミナーや講演会開催等)」に取り組んでおります。本事業は6年間となりますが、ちょうど3年間の事業が終了して中間報告書が完成致しましたので、郵送にてお送りしたく存じます。また、2018年度の当センター報告書も近日中に製本予定です。併せて送付させていただきますと幸いです。ご高覧の程、よろしくお願い申し上げます。</p>
(21)	<p>女性医師の研究支援、医師のワークライフバランス推進、ハラスメントの防止と相談、医学科学生へのキャリア教育、男女医師間のアカデミックキャリア格差に関する研究</p>
(22)	<p>全学的な男女共同参画推進の一環として、宮崎県医師会や行政と密接に連携しながら女性医師支援や医療現場における働きやすい環境づくりを行っている。</p>
(23)	<p>(女性医師支援センター)病児・病後児保育室の運営、セミナーや講演会、交流会の開催等を行っています。その他委託事業として静岡県的女性医師支援については別途メールで送ります。</p>
(24)	<p>男女共同参画推進室:研究支援、メンター制度、学会支援、先進的病児保育</p>
(25)	<p>医師のキャリア支援に関する講演会、働き方改革セミナー、ママさんパパさん交流会、アンコンシャスバイアス研修、男女共同参画特別講義 等の開催、病児保育室の管理・運営</p>

(26)	地域医療研究・教育センター男女協働キャリア支援部門では、男女を問わず、充実したキャリアを目指す医療者の現場復帰を支援しています。再教育プログラムである医師ワークライフ支援プログラムを活用し、今春、29名の医師が診療科／領域で勤務しています。個別面談を行い、個々の医師のニーズを把握し、診療科の先生方ときめ細やかな連携を目指しています。
(27)	病院:メディカル・ワークライフバランスセンター キャリアアップ支援、育児支援、ピアサポート、システム構築、各種相談業務 大学:ダイバーシティ推進センター キャリアアップ支援、研究支援、育児支援、介護支援、メンター制度、各種相談業務、復職支援制度
(28)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性医師、若手医師向けセミナーの主催、共催 ・セミナー等開催時の無料託児設置支援 ・マタニティ白衣の無料貸出 ・育児支援情報及びキャリア支援情報の提供やキャリア相談対応 ・URLは、https://akitamd-support.com/woman/
(29)	<p>男女共同参画プロジェクト委員会活動内容</p> <p>1 女性医師のキャリア相談窓口 「女性医師のキャリア相談窓口」を開設し、育児支援・勤務体制等、女性医師の職場環境に関する相談への対応を行っています。</p> <p>2 男女共同参画事業に関するアンケートの実施 平成30年3月に臨床系女性医師を対象に、「女性医師が働きやすい環境づくりのためのアンケート」と題して、本学の女性医師支援事業に関する認知度及び要望等についてのアンケート調査を実施しました。 その結果を踏まえ、平成30年9月には、各診療科等に対して、男女共同参画に関するアンケート調査を実施しました。</p> <p>3 学生さん向けの取り組み</p> <p>(1)キャリア教育講演会の開催 平成27年度からキャリア教育講演会を開催しています。</p> <p>(2)医学生、研修医等をサポートするための会の開催 愛知県医師会が主催となり平成21年度から女性医学生、研修等をサポートする会を県内の医療系4大学の持ち回りで開催しています。</p>

問4-1:貴大学医学部のホームページ内に女性医師支援や男女共同参画推進に関するページはありますか？

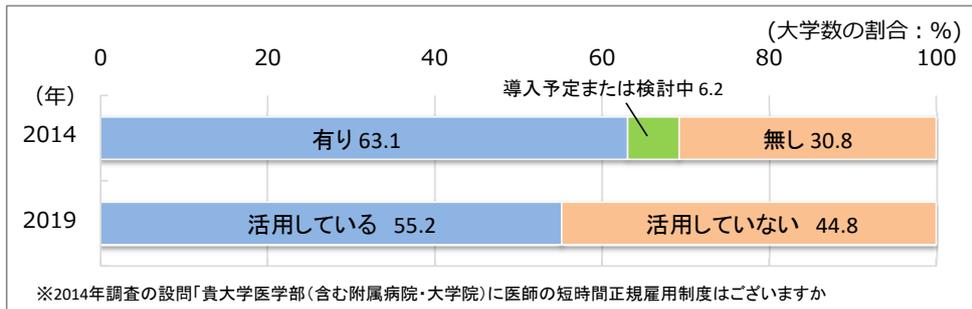


問4-2: 女性医師支援や男女共同参画に関するページのURLをご記載ください。

	大学名	URL
(1)	旭川医科大学	http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/index.html
(2)	札幌医科大学	http://web.sapmed.ac.jp/joy/
(3)	秋田大学	https://akitamd-support.com/woman/
(4)	福島県立医科大学	https://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/
(5)	群馬大学	https://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/mes/ https://igakudanjyo.kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/
(6)	自治医科大学	https://www.jichi.ac.jp/c-support/
(7)	埼玉医科大学	http://www.saitama-med.ac.jp/cmecd/m-5.html
(8)	東京医科歯科大学	http://www.tmd.ac.jp/ang/index.html http://www.tmd.ac.jp/cmndddu/index.html
(9)	日本医科大学	http://www2.nms.ac.jp/shien/
(10)	東京女子医科大学	http://www.twmu.ac.jp/gender/
(11)	杏林大学	http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/feature/Female_researcher_support_business/
(12)	東京慈恵会医科大学	http://www.jikei.ac.jp/female/index.html
(13)	聖マリアンナ医科大学	http://www.marianna-u.ac.jp/career/
(14)	岐阜大学	https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/ https://hosp.gifu-u.ac.jp/joseiishi/index.html
(15)	信州大学	http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/
(16)	帝京大学	http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/support_center/
(17)	浜松医科大学	https://www.hama-med.ac.jp/gender-equal/index.html http://www2.hama-med.ac.jp/w1b/woman/
(18)	愛知医科大学	https://www.aichi-med-u.ac.jp/su02/su0210/index.html
(19)	大阪市立大学	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/cfdn/action/index.html
(20)	大阪医科大学	https://omc-smart.jp/
(21)	関西医科大学	http://www.kmu.ac.jp/residency/women.html
(22)	滋賀医科大学	http://danjokd.shiga-med.ac.jp
(23)	京都府立医科大学	http://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/
(24)	奈良県立医科大学	http://www.naramed-u.ac.jp/~josei/
(25)	兵庫医科大学	https://www.corp.hyo-med.ac.jp/kyodosankaku.html
(26)	香川大学	http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/shinryoka/worklife/
(27)	鳥取大学	http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/worklife-balance-suppot/
(28)	山口大学	http://www.cdc.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/gender/top.html
(29)	九州大学	https://www.med.kyushu-u.ac.jp/overview/danjokyodo/index.html
(30)	産業医科大学	https://www.uoeh-u.ac.jp/intra/danjogakunai.html
(31)	長崎大学	http://nagasaki-ajisai.jp/about/medicalworkcenter/メディカルワークライフバランスセンター https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/about/ダイバーシティ推進センター
(32)	大分大学	http://www.fab.oita-u.ac.jp/ http://www.oita-carsupport.jp/
(33)	宮崎大学	http://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/
(34)	鹿児島大学	https://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~wd-fnet/

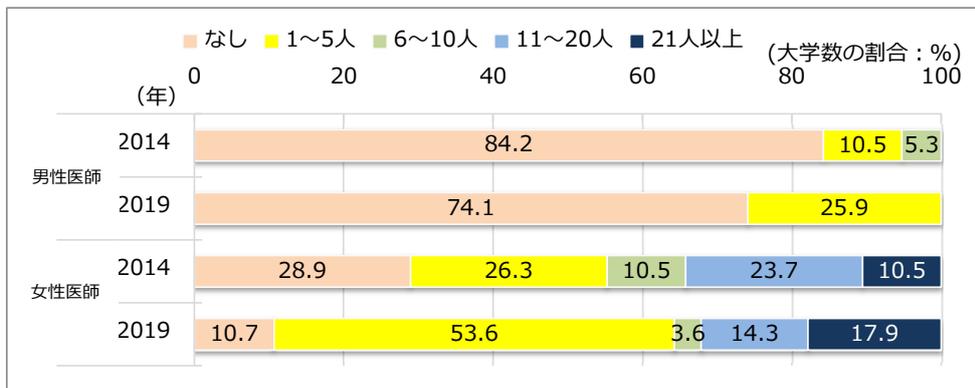
※問4-1のうち、「ある」と回答したが、URLの記載がなかった大学が2大学ある。

問5-1: 貴大学医学部の医師は短時間正規雇用制度を活用していますか。



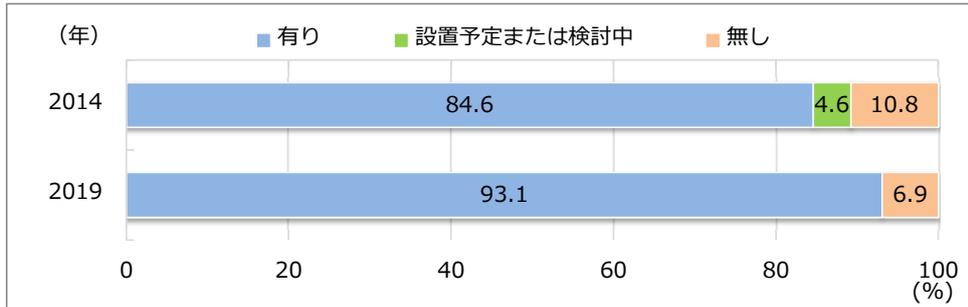
年	単位	有り	導入予定 または検討中	無し	計
2014	大学数	41	4	20	65
	%	63.1	6.2	30.8	100.0
年	単位	活用している	-	活用していない	計
2019	大学数	32	-	26	58
	%	55.2	-	44.8	100.0

問5-2: 活用者の男性医師は何名ですか？ 問5-3活用者の女性医師は何名ですか？



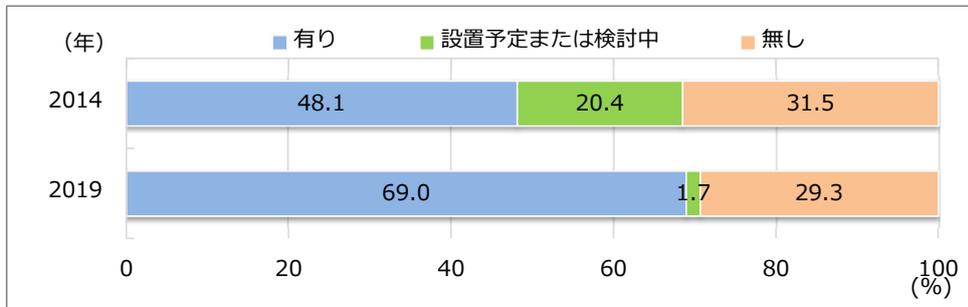
	年	単位	なし	1~5人	6~10人	11~20人	21人以上	計
男性医師	2014	大学数	32	4	2	0	0	38
		%	84.2	10.5	5.3	0.0	0.0	100.0
	2019	大学数	20	7	0	0	0	27
		%	74.1	25.9	0.0	0.0	0.0	100.0
女性医師	2014	大学数	11	10	4	9	4	38
		%	28.9	26.3	10.5	23.7	10.5	100.0
	2019	大学数	3	15	1	4	5	28
		%	10.7	53.6	3.6	14.3	17.9	100.0

問6: 貴大学医学部に医師が利用できる院内(施設内)保育所はございますか。



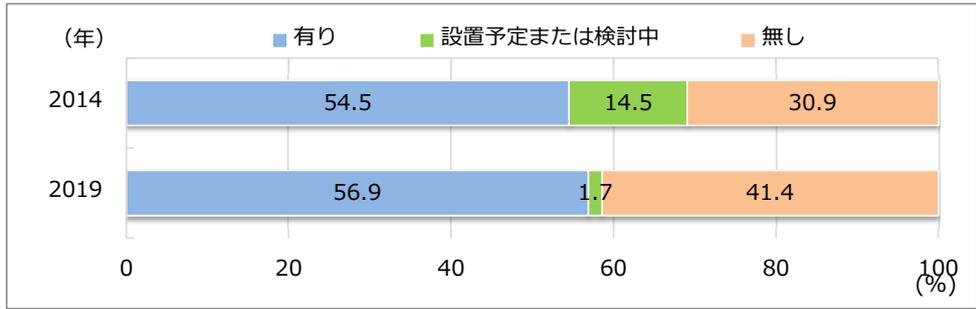
年	単位	有り	設置予定 または検討中	無し	計
2014	大学数	55	3	7	65
	%	84.6	4.6	10.8	100.0
2019	大学数	54	0	4	58
	%	93.1	0.0	6.9	100.0

問7-1: 院内(施設内)に、医師が利用できる病児保育はございますか。



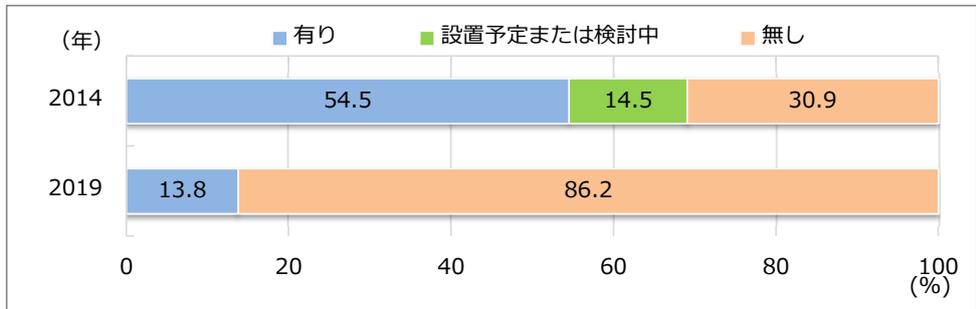
年	単位	有り	設置予定 または検討中	無し	計
2014	大学数	26	11	17	54
	%	48.1	20.4	31.5	100.0
2019	大学数	40	1	17	58
	%	69.0	1.7	29.3	100.0

問7-2: 院内(施設内)に、医師が利用できる病後児保育はございますか。



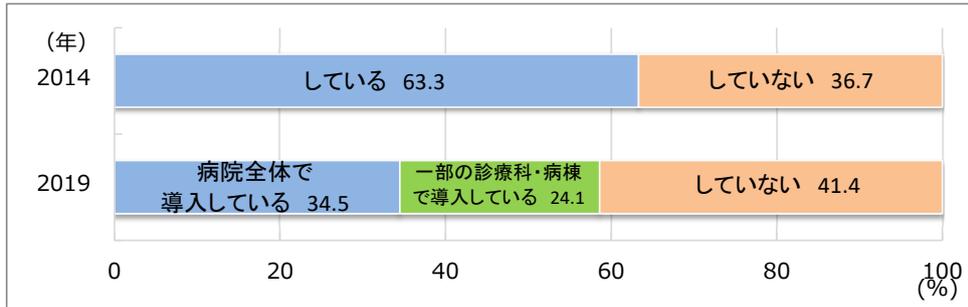
年	単位	有り	設置予定 または検討中	無し	計
2014	大学数	30	8	17	55
	%	54.5	14.5	30.9	100.0
2019	大学数	33	1	24	58
	%	56.9	1.7	41.4	100.0

問8: 院内(施設内)保育所では、医師が利用できる学童保育はございますか。



年	単位	有り	設置予定 または検討中	無し	計
2014	大学数	30	8	17	55
	%	54.5	14.5	30.9	100.0
2019	大学数	8	0	50	58
	%	13.8	0.0	86.2	100.0

問9-1:貴大学附属病院では複数主治医制を導入していますか。

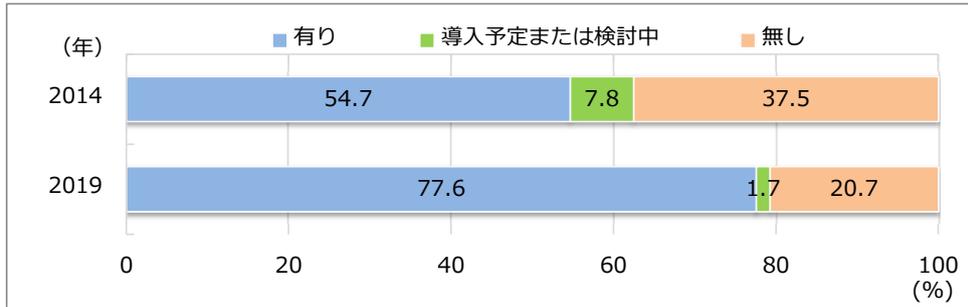


年	単位	している	-	していない	計
2014	大学数	38	-	22	60
	%	63.3	-	36.7	100.0
年	単位	病院全体で導入している	一部の診療科・病棟で導入している	していない	計
2019	大学数	20	14	24	58
	%	34.5	24.1	41.4	100.0

問9-2:複数主治医制を導入している診療科名をお答えください。

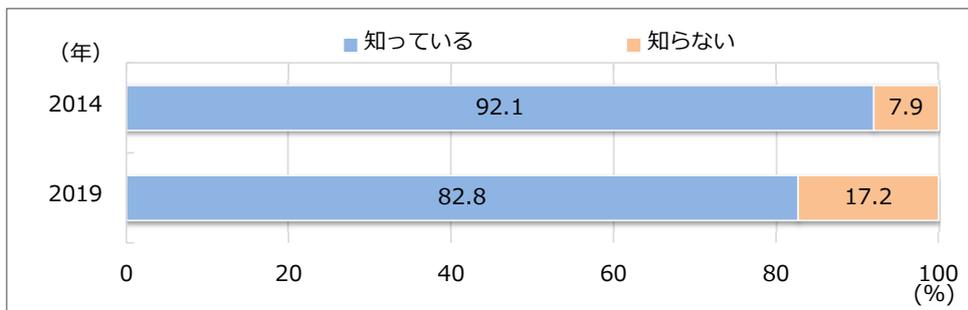
(1)	糖尿病代謝・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍科、リウマチ膠原病内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、総合診療科、精神神経科、一般・消化器・小児外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児心臓血管外科、脳神経外科、脳血管内治療科、整形外科、小児科、新生児科、婦人科・腫瘍科、産科・生殖医学科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、腎泌尿器外科、麻酔科・ペインクリニック、形成外科、歯科口腔外科、救急医療部
(2)	内科系、外科系、小児科、神経精神科、救命救急センター
(3)	消化器外科、産科婦人科
(4)	整形外科、小児科
(5)	肝胆膵内科
(6)	第一内科、第二内科、第三内科、第一外科、第二外科、産科婦人科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科
(7)	整形外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、消化器内科、腎臓内科、心臓血管内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産科、婦人科、神経科精神科、脳神経内科、小児科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・甲状腺外科、脳神経外科、リハビリテーション科
(8)	整形外科、外科、産婦人科
(9)	神経内科、循環器内科、免疫内科、血液内科、小児科、精神神経科、放射線治療科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科

問10: 貴大学の学部教育の中にキャリア教育や男女共同参画に関する講義はございますか。



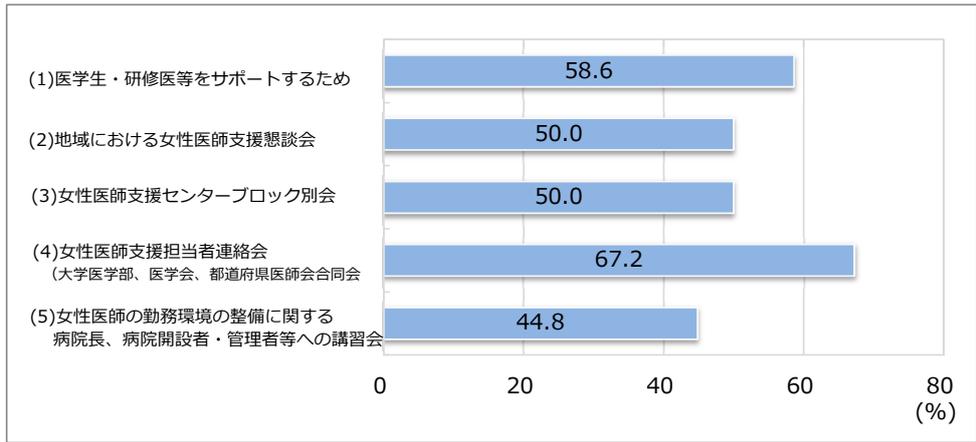
年	単位	有り	導入予定 または検討中	無し	計
2014	大学数	35	5	24	64
	%	54.7	7.8	37.5	100.0
2019	大学数	45	1	12	58
	%	77.6	1.7	20.7	100.0

問11-1: 日本医師会女性医師支援センターや日本医師会女性医師バンクをご存じですか。



年	単位	知っている	知らない	計
2014	大学数	58	5	63
	%	92.1	7.9	100.0
2019	大学数	48	10	58
	%	82.8	17.2	100.0

問10-2: 日本医師会女性医師支援センターの活動について、ご存知の活動。



	知っている	知らない	知っている%
(1)医学生・研修医等をサポートするための会	34	24	58.6
(2)地域における女性医師支援懇談会	29	29	50.0
(3)女性医師支援センターブロック別会議	29	29	50.0
(4)女性医師支援担当者連絡会 (大学医学部、医学会、都道府県医師会合同会議)	39	19	67.2
(5)女性医師の勤務環境の整備に関する 病院長、病院開設者・管理者等への講習会	26	32	44.8

※2019年調査のみの設問

ご意見・ご要望

(1)	島根県医師会、島根県と島根大学医学部の三者が連携して意見を出し合って、取り組みを進めている。
(2)	問5-1ただし、特定短時間有期雇用制度を導入し、活用している。
(3)	語句の定義の記載があった方が回答しやすいです。